

令和2年3月15日

原野谷学園事務局（原野谷中）

TEL 0537-26-0011



## 地域も園・学校も大人も子ども達も、思うようにいかないこと、我慢することが多かった令和2年度!

令和2年度も残りわずかとなりました。

地域も学校も、家庭内でも新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、先の見通しが立たない不安の中、それぞれが臨機応変に柔軟な対応を考え、日々を過ごしてきたかと思えます。

新型コロナウイルスとの共生を想定した「新しい生活様式」ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、手洗い・うがい・消毒が今では常識となってしまいました。

思うようにいかない、我慢することが多かった一年ではありましたが、窮屈な中でも原野谷中学校区の子も達が多様な活動へ意欲的に取り組んだ様子をご紹介します。

### 令和2年度 9月～12月 子ども達の取り組み



原野小  
スポーツフェスティバル



原野小  
スポーツフェスティバル



# 令和2年度「原野谷学園」子ども育成支援協議会の取り組み

## ～学校支援ボランティアの 活動内容のご案内～

数学塾ボランティア



絵本の読み聞かせ



図書館ボランティア



### 読み聞かせボランティア 募集ポスター

(原野谷中学校 美術部の生徒さんの作品です)

園児・児童・生徒 みんなが絵本の読み聞かせを楽しみに待っています。

絵本の対象年齢は気にしなくて大丈夫!

子ども達それぞれの成長過程において、伝わり方や感じ取り方が変わってきます。

子ども達の心はそうして豊かに生まれ、大人になっても、本への親しみを思い返すきっかけに

しおりや、手紙に  
思いを込めてのお  
礼です!



一年間 学校支援ボランティアとして活動して下さいありがとうございました。  
園児・生徒からのお礼の気持ちを込めた、心遣いが自然に出来る原野谷中学校区の子ども達は地域の宝物ですね!(^^)



## 学校支援ボランティアの募集を随時 行っております。

活動内容について詳しく知りたい方、ご興味のある方は、お気軽に事務局校の原野谷中学校までお問い合わせ下さい。

※原谷小学校・原田小学校・子ども広場あんり とも園でも「原野谷学園」園・学校支援ボランティア登録用紙をご用意しております。

多くの皆様のご支援、ご協力を宜しく  
お願い致します。

- ・ 図書館の整理整頓
- ・ 読み聞かせ
- ・ 学校内の整備 (草刈り、樹木の剪定、花壇作り)
- ・ 地域の歴史や偉人についての学習
- ・ 算数、数学などの学習支援
- ・ 木工加工など学習作業支援
- ・ パソコンの使い方支援 (操作方法、プログラミング)
- ・ 米作り (田植え、稲刈り、脱穀、餅つき) の活動支援
- ・ ミシンの使い方支援
- ・ 調理実習 学習活動支援
- ・ 防災に関する学習指導支援
- ・ あいさつ指導や登下校の指導支援
- ・ 昔の遊び、小物作り、しめ縄作り、将棋などの学習支援



### 黄色の腕章

(原野谷中学校 美術部の生徒さんの作品です)  
令和3年度から、学校支援ボランティアさんの目印になります(^^)

原野谷中学校区の皆さんが**ワンチーム**を  
目指して**虹色の輪**を広げていけるよう頑張  
ろう!

「原野谷学園」子ども育成支援協議会では、  
令和2年度7月、ホームページ (eじゃん  
掛川) を開設致しました。

- ・ 年間3回発行される原野谷学園だより
- ・ 原野谷中学校区小中一貫校の整備に向けた取り組みをお伝えしていきます。

ご家庭や地域でも話題に取り上げて頂けると幸いです。

QRコードはこちら



<http://e-jan.kakegawa-net.jp>

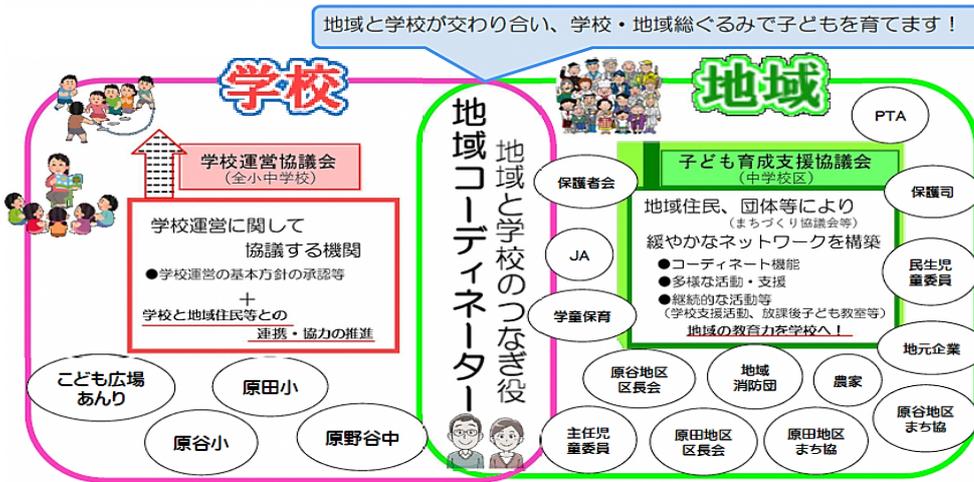
地域の皆様の温かいご  
支援に子ども達も大変  
喜んでおります。  
ご協力有り難うござい  
ます。

掛川市では、平成31年度から各中学校区に「学校運営協議会」が設置され原野谷中学校区でも、原田小学校、原谷小学校、原野谷中学校の3校がコミュニティスクールとしてスタートしました。

コミュニティスクールとは、「学校運営委員会」を設置している学校のことを指します。

原野谷中学校区でも、原田小学校、原谷小学校、原野谷中学校の3校に「学校運営委員会」が設置されています。

原田小学校、原谷小学校、原野谷中学校それぞれが、コミュニティスクールということになります。



子ども育成支援協議会とは、

地域・学校・家庭が互いに連携を図り、学校と地域が相互にパートナーとして「地域と共にある開かれた学校づくり」そして「地域と学校が一体となった特色のある学校づくり」を推進し、学校支援ボランティア活動等に取り組む

コミュニティスクール「学校運営委員会」のねらい・・・

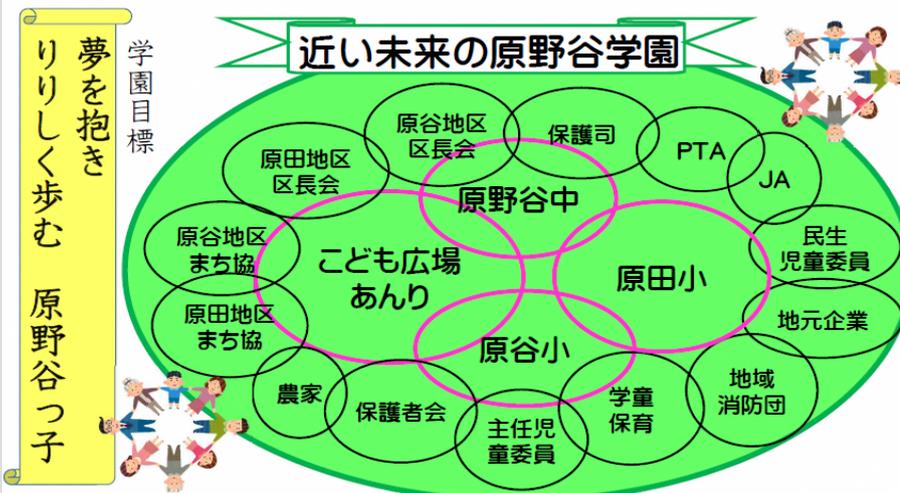
学校と家庭・地域が連携・協働し、互いに当事者意識を持って、子ども達の成長を支えていく学校づくりを進めていく事が一番のねらいです。

コミュニティスクールでは、子ども達の学びを地域と学校が一体となって支え合う。(地域と共にある学校)づくりの仕組みとなります。

こんな子ども達を育てたいという願いを、学校・家庭・地域が共有しながら一体となり、それぞれが当事者として地域の子供達を育てていこう。

という取組です。

原野谷学園では「夢を抱き りりしく歩む 原野谷っ子」という目指す子ども像の願いを掲げ取り組んでいます。



**黄色の腕章**

令和3年度から、学校支援ボランティアさんの目印になります(^^)

原野谷中学校区の子供達のため皆さんがワンチームを目指して虹色の輪を広げていけるように頑張るぞう！

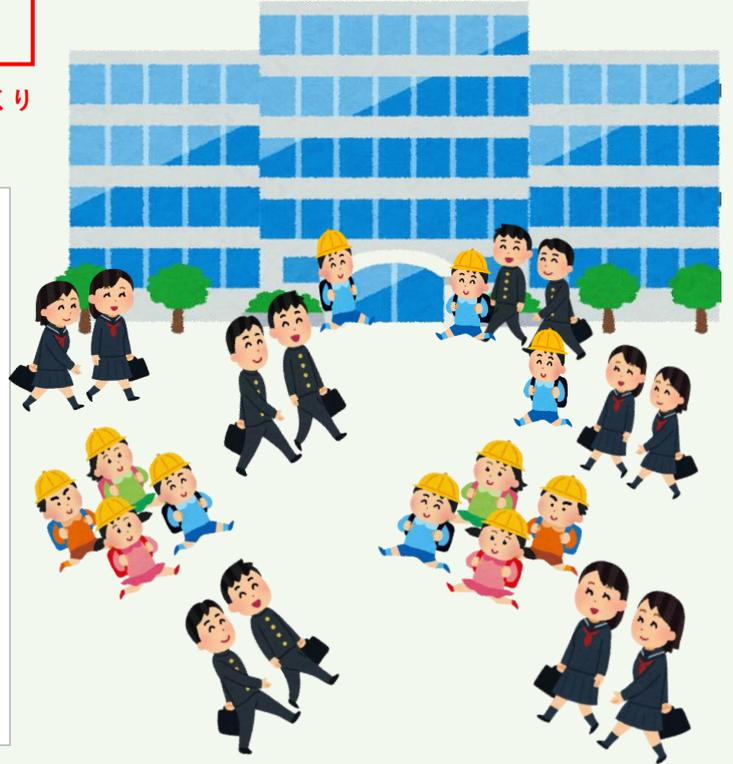
この虹色の輪を、原野谷中学校区の全域に、たくさんたくさん広げていきたいですね

地域・学校・家庭が協力し合い、魅力溢れ、活力あるコミュニティスクール「新しい原野谷学園」を目指して、より多くの方が、未来の子供達の為、地域のため、ひとりひとりが無理のない範囲で、今自分に協力出来る事へ当事者意識をもって取り組む心意気が大切

## 『原野谷学園』新たな学園づくり

学園だより②⑤号(振り返り その1)は、**新たな学園づくりを進める理由についてのお話**でした。

- ①原野谷地域においても少子化が進んでおり、学校の児童、生徒数が少なくなることにより、協働して行う学習、活動等に制約が生じている現実があること。
- ②原野谷中学校の校舎は令和3年度で築60年となり老朽化が進んでいる現実があること。
- ③早期に新校舎への建て替えが望まれる状況にあり、子どもたちを安心して通わせることのできる教育環境の整備が急務です。
- ④小学校と中学校が一体になることにより、9年間の一貫したカリキュラムの中で学びの質の向上が見込まれること。
- ⑤小学校から中学校へのスムーズな移行が可能になります。



一体型小中一貫校とは・・・  
どのような学校なのでしょう？

## 新たな学園づくり 振り返り その2

### 一体型小中一貫校とは？

原野谷学園新たな学園づくり地域検討委員会が整備を提言した一体型小中一貫校は、小中学校の校舎が同じ敷地内にあるか、小中学校で一緒の校舎を使う形態の学校です。

これまでは、小学校は小学校で、中学校は中学校で別々の敷地に施設を整備して、小中学生が別々に学校生活を送ることが一般的でした。**近年、小中学校の連携がひじょうに重要視される中で、小中学生が同じ敷地、建物で学ぶ一体型の小中一貫校が注目され静岡県内でも少しずつその数が増えています。**

**近隣では、浜松市内に3校あり、磐田市では4月から1校が開校予定となっています。**

一体型の学校は、先生や子どもたちの移動が容易になることから、小中の連携が行いやすくなること、小中学生と一緒に生活することでそれぞれに良い影響を与えることが既に一体校となっている学校から報告されています。

**今後、導入が予定されている小学校高学年の教科担任制についても中学校教員による専門的な教育が行えるなどその効果が期待されます。**

原野谷学園に一日も早く新たな教育環境が整備されるよう、市が早く事業をスタートして欲しいですね。

**原野谷学園だより②⑦号でも随時「原野谷学園づくり」についてお伝えして参ります。**

密を避けながら地域の皆様、園・学校の先生方、園児・児童・生徒、保護者、地域全員が心のつながりを大切に、協力し合い、原野谷中学校区「原野谷学園」の更なる歩みを一歩ずつ着実に築き上げていけるよう、令和3年度も引き続きご協力をお願い致します。